

Lion

IWATE

2018. 5

332-B 地区 アクティビティスローガン
かたい絆に思いを込めて、We Serve

日本ライオンズ 次世代リーダーシップセミナー 2017-2018

国際協会332-B地区1R1Z盛岡南LC L.藤澤 正幸

4月4日から6日まで名古屋にて日本ライオンズ次世代リーダーシップセミナーに出席させていただきました。

当日、花巻空港から名古屋空港に着いたとたん暑い陽気で盛岡とは気候もだいぶ違うなと感じました。初日のセミナーでは、厚いマニュアルを渡されオープニングセッションから始まりリーダーシップの基礎・プロジェクトの管理・テーマディスカッションを行いました。

効果的なリーダーの5つの行動では、1. 現状打破に挑む 2. ビジョンを共有 3. 行動できる環境をつくる 4. 自ら模範を示す 5. 心から励ます を学びました。共通の目標を持ち行動と努力を促すようになる人材になること、特に会員増強においては、新入会員が1年で約15%・3年で約38%・5年で約50%の退会者が出ていることは非常に残念な現実でした。要因は、ダラダラ例会や人間関係、また有意義なアクティビティなどが行われないなど様々なことが関係しているのではということでした。素晴らしいクラブ運営をしていくには、楽しく入会して良かったと思える家族のようなチームを目指していくこと。

また、自分の指導力評価シートなどを参考に分析し、リーダーが持つべき資質やリーダーシップ向上のための目標を自覚するように出来ればと痛感させられました。

二日目のセミナーは、クラブの運営面での「素晴らしいチームを築くには」から始まり、任せることや争いの解決などをテーマに、チームとして全員が目標に向かって努力し個々のメンバーの成果を高めるようにすること。争いの解決にはケーススタディを活用し、自己評価テストにて自分のスタイルを認識しながらの諸戦略を活用することを学びました。会員の動機づけには、マスローの欲求階層説に基づき、人間の動機に影響を及ぼす欲求のレベル・左右する刺激と障害を認識し会員を動機づける行動計画を立案して行くようにすること。

来期のテーマ「風に立つライオン ～君がライオンズリーダーなら何をするのか?」を上映し内容についてディスカッションを行いました。

最終日については、国際協会プログラム及び情報・LCIフォワード・会員増強と女性会員の活躍についてを学び、ジェパディ・ゲームを活用した基礎知識が学べるゲームで盛り上がりました。グローバル奉仕フレームワークを再確認、2021年までに年間受益者を2億人、人道奉仕インパクト3倍を目標に、1. 糖尿病 2. 環境 3. 食糧支援 4. 視力 5. 小児がん と5つの奉仕分野に集中することです。

日本GSTの4重点目標では、1. 糖尿病啓発事業 2. ライフジャケット寄贈事業 3. 子供の貧困と小児がん事業 4. スペシャルオリムピックス支援事業 を事業目標としている。LCIFについては、基礎知識を学びなぜ寄付をするのか? 寄付の方法やどこに使われているのか? 寄付金を申請するには?などの疑問でしたが、山形の寒河江臥龍ライオンズクラブのさくらんぼ共生園援助の事例を拝聴いたしました。全世界の寄付金(年間)40億に対し日本の寄付金(年間)10億、世界で一番の寄付金地区が334-A地区であること。また、日本で最高MJF口数381口であること知り驚きました。

スペシャリティクラブの発想で、第二世紀のライオンズクラブの元気を生み出す会員増強とエクステンションについては、来期からクラブ組織の名称が変わると言うことでした。

国際協会、複合地区、準地区の組織の「名称・役割」とクラブの組織が一致していないことで伝達事項がクラブ会員まで届かないこと。伝わらない、理解されない、機能しないことを改善するために実施されるとのこと。これにより、組織図も変更になりますが現在の状況で、どの程度各クラブまで伝達出来るのかなと思いました。

スペシャリティクラブとは、特定のアクティビティに特化することや特定の特技・趣味を持つ会員のクラブであったり、共通の背景をもつ会員のクラブだそうです。国際協会では、従来型ライオンズクラブではなくて、スペシャリティ・ライオンズクラブが次の100年の礎だと考えている…らしい?が、弊害もあるということでした。

女性会員の活躍では、ヘアードネーション・子供

食堂などの報告を受けましたが、入会動機が奉仕を目的に会員になった人が多いそうです。ちなみに、男性会員では付き合いとかの人間関係で入会する人が多いことだそうです。

以上、3日間を通じて色々なことを学んできましたが、クラブ運営として奉仕と社交の程よい場にして行きたいと思います。

また、今回のセミナー出席者のうち女性会員も22

名と多く積極的な発言もあり今後益々活躍して行くだろうと思います。

国内から集った同志、ライオンズメンバーとのご縁が出来たことを嬉しく思いました。

最後になりますが、GMT会則地域副リーダー/LCIF理事はじめ元国際理事・エリアリーダー・GLT各複合地区コーディネーターの講師に感謝いたします。

ありがとうございました。

日本ライオンズ 次世代リーダーシップセミナー 2017-2018

国際協会332-B地区1R1Z盛岡南LC L.舘澤 繁信

想像していたように、参加した皆さんの発言力に驚きました。35地区合計68名そのうち女子が23名ですが、特に女子の発言力とパワーには圧倒されました。各地区での温度差も感じられたのは事実です。

初日は、午後からですが、ディスカッションのプログラムでした。リーダーシップの基礎とプロジェクトの管理。リーダーシップとは、共通の目標達成に向け、仲間に行動と努力を促すことである。現状を打破し、ビジョンを共有し、行動できる環境を作り、自ら模範を示す。そして仲間を励ます。まさに、体育会系と類似してはいますし、長年の経験で体に染みついていると思っていましたが、文章にするとこういうことなのかなと気づかされました。プロジェクトの管理は、まず事業の選択と定義、その事業の計画立案、監視、引継ぎと、一年一期のなかでいかに事業を継続していくかの大切さを学びました。最後はテーブルごとの班によるワークショップ。先ほど知り合って名前もまだ覚えられない仲ですが、皆さんと、それぞれ共通の目標達成に向けて、同じスキルがあるようでしたので、素晴らしい発表ができたと思います。

二日目、三日目は、朝8時から～18時まで、ハードスケジュールセミナーを受講しました。特に私が苦手としている、スピーチでした。ただやみくもに話すのではなく、アウトラインを組み、冒頭部～主部～結びへと。でもやっぱり苦手です。グローバル、アクションチーム (GAT) 家族および女性チーム (FWT) についても学びました。冒頭に書いた通り、参加して

いる女性の研修生の皆様は、まさにFWTのリーダー的存在の方々と、結構経験豊富で、発言の内容も素晴らしいと共感しました。私共の地区が遅れているなど実感しました。

54歳にもなり、この年で、次世代リーダー研修なんかと思いますが、ライオンズのことに関しては、知らないことだらけで、知らないことが多いなということ学びました。ライオンズ必携を熟読し、次世代へ継承していかなければなりませんね。しかし、次世代を引っ張って行くには、昔ながらの方法ではいけないと思ったのも事実です。新しい思想を考慮し、引き継いで良いもの、革命が必要な部分は革命を、急にやれば反発もあり困難なことはわかりますが、今のままでは会員減少のままです。金銭面での負担にも問題があると思います。本来の奉仕活動とはなにか、時代のニーズに合った事業とは何か、ライオンズのバッチをつけて、格好ばかりつけているのもどんなものか。自分自身心掛けていることは、心を磨くこと。目に見えない部分こそが人の誠。自分のことは、後回しにして、誰かのために生きる。いずれにせよ、私たちは、次世代の教育者にならなければならない。研修を受け、いろいろな講師より講和を受け、私が感じたことを綴りました。

新しい友もでき、大変有意義な三日間でした。ガバナー経験者の講師の皆様には心より感謝申し上げます。



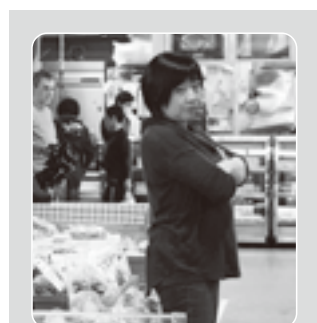
英語飛び交う国際協会からの取材



《報告》332-B地区FWTコーティネーター・

陸中宮古LC陽だまり支部 世話人 須賀原 チエ子

春がそこまで来ている 3月27日陸中宮古LC陽だまり支部活動の拠点のみやこ体験広場にライオンズクラブ国際協会から取材が入りました。これはLCIF財団50周年記念事業の一環として、東日本大震災被害への



長くシカゴ本部にお勤めで英語が堪能な
L.佐子・マーズさん

LCIFからの支援の様子を国際大会で放映するための取材です。当日は、太平洋アジア課 L.佐子・マーズの通訳の元、一日が



かりのの撮影でした。4名の撮影スタッフのうち、2名が国際協会から、2名は日本で活躍の方でした。5R1Z ZC L.中山城明と一緒に撮影のお世話をしました。

取材1

手創工房 輝きの和

東日本大震災後女性たちを支えたいと陸中宮古LC陽だまり支部を立ち上げ、拠点となる工房をLCIFからの支援で建設。被災者や女性達の仕事場として着物地裂き織りや各種手作り商品の製作を行っている様子を映しています。



インタビューを受ける工房利用者



取材2 キッチンカー



取材に協力の陸中宮古LCの皆さん



仮設住宅などでの
お振舞のための
キッチンカーを
ドローンを利用し
撮影しました。



取材3 ものづくりアンテナショップ umi



2019年7月5日～ 7月9日：イタリア・ミラノで
開催の第102回ライオンズクラブ国際大会で放映
の予定です。ミラノはイタリアで2番目に大きな街
で、ファッション、デザイン、創造性の中心地でも
あり、ミラノならではのおいしい食べ物、重厚な
歴史、最先端のファッションを楽しみに陽だまり支
部会員や工房利用者と参加する事を夢見てます。



商品の販売のための
ショップもしっかりと
取材してます。

ク/ラ/ブ/紹/介

花泉ライオンズクラブの活動について

3R2Z L. 菅原 徳哉 (花泉LC会計)

花泉LCは、今年度48代会長スローガン、会員増強10%増強を達成すべく活動しております。

当クラブは、現在正会員21名（チャーターメンバー1名、最年少女性会員1名）家族会員4名計25名で結成以来最小の人数で運営しております。

クラブの主要なアクティビティは、夏の花泉夏祭りにおいて全ライオン、ライオンレディー、家族会員総参加（約35名）で花泉の伝統餅文化を年1回発信する日本一の餅つき大会に参加協力して、合わせて会場の一画で泉ライオンズクラブチャリティーバザーを開催し、ライオンズクラブのPR。益金は被災地支援及び支援学級手をつなぐ会等に寄付しております。

今年29回を迎える日本一の餅つき大会は、始まりは46団体の参加で約1トンの餅米を46台の臼と杵でつき、来場した約2000人に無料で振舞われ、餅の種類は60種類にも及び餅文化の伝承を受け継いでいます。実行委員長及び委員をクラブ会員が務めており、始まって以来20数年アクティビティとして参加協力しております。

秋のアクティビティで青少年健全育成事業のスポーツ少年団女子ソフトボール大会を16年間継続開催しております。初めたきっかけは、ソフトボールの大会が年に2～3回と少なく、シーズンを通して目標を持って活動していただくためにと冠大会を開催しました。当町には2チームしかなく他地区より、強豪チームを招待する事で年々レベルも上がり、今ではここ5年前より県代表として全国大会に出場しており当クラブの誇りとする事業です。

332-B地区県下ライオンには、ぜひ8月の第一日曜日にお越しいただき、当クラブ自慢の餅料理を食べて頂ければ幸いです。

追伸／餅食無料

但し箸は持参、または有料（寄付）



餅つき大会フリーマーケット



ソフトボール大会



ソフトボール大会

ク/ラ/ブ/紹/介

それでも頑張るしかない

5R1Z L. 佐々木 菊三郎 (田野畑LC幹事)

田野畑ライオンズクラブは結成18年目を迎えております。皆様のお陰でどうにか活動しているところです。18年間は決して楽しいことばかりではありませんでした。特に大震災前の頃はクラブの解散も考えたものでした。例会も2人だけの時もあり本当に悩んだ時期もありました。しかし、当時のガバナーより無理をせず『田野畑クラブで出来ることを活動して下さい』。他のクラブの『まね』するのではなく、田野畑クラブらしいクラブにして下さい。とのアドバイスを頂き、例会の持ち方を変えたり、懇親会を長くしたり色々工夫をして今日に到っております。

しかし、そのような中でも、青少年健全育成を中心とした、ミニバスケ支援、スポ少野球支援、

又、献血については赤十字センター職員と一緒に宣伝カーを使い、村内一周し広報活動しております。結成当時は27人のメンバーでしたが、紆余曲折があり現在は23名となっております。会員拡大についてはなかなか思う様に行かず今年度は現状維持と考えております。しかし、そのような中でも現在は例会が待ち遠しい会員も出来、「今度の例会は何時ですか」と聞く会員もできて一安心と思う時もあります。

今、あの大震災を思うと、田野畑村にライオンズクラブが有ったため全国、世界中からの支援を頂けたと思うと、頑張っクラブを継続してきた事が如何に大事なことであったかと身に沁みて感じているところです。



楽しいクリスマス家族例会



新会員入会決意表明の様子



大震災の被災者の方々にみかんのプレゼント仕訳作業



CN40周年式典報告

一関中央ライオンズクラブ 会長 L. 鈴木 勝則

春爛漫と呼ぶに相応しい好天となった4月22日(日)、332-B地区3R2Z 一関中央ライオンズクラブCN40周年式典を「ベリーノホテル一関」にて開催致しました。当日は、勝部一関市長を始め来賓各位、並びに332-B地区 L. 森谷潤ガバナー他、地区役員の皆様、そしてスポンサークラブ平泉ライオンズクラブを始め沢山のブラザークラブ、姉妹クラブ東京豊島西ライオンズクラブ皆様のご臨席を頂き、滞りなく式典を挙行できましたことに、改めて感謝申し上げます。

結成40年という節目をどの様にとらえ、クラブの継続的な運営を目指すためには、何をどうしていくか。アクティビティはどうあるべきか等々。大会準備会義では、熱を帯びた協議を繰り返しました。また、開催時期が4月中旬という何かと多用な時節にもかかわらず、ご参会いただくことに対して、精一杯『心のこもったおもてなし』をしようと誓い合いました。

約100名のクラブ会員に役割分担しそれぞれが、責任を持って動き出してもらうことは、容易なことではありません。各担当部会議の適時開催と、全体の部会長会議を週単位で行ったことで、問題を早期に解決し、豊富なアイデアを結集し、当初の予想よりも充実した内容で今までで一番の大会になったと自負しているところです。

「式典は、厳粛に・テンポよく。祝賀会は、楽しく・美味しく晴れやかに。」を目標に、過去に例のない取組を検討。また映像をフルに活用し、参加者に全てをわかりやすく伝えることに配慮しました。祝賀会の料理は試食会を開催するなど吟味に吟味を重ね、地元の食材も楽しんでいただく出店も企画。ショータイム



も、間延びしないよう、かつ、騒々しくならないよう静・動のメリハリに配慮しました。そして何よりも一関二高レオクラブ、一関国立高専の学生さんなど地元の皆様の協力を頂いて開催できたことはとても嬉しく、ご参会の皆様にも充分に有意義な大会をお過ごし頂けたのではないかと思います。

大会テーマは「未来創新」と決定し、子ども達の未来が、希望のある豊かなものになるよう、そのための一助を担っていく姿勢を宣言しました。

記念事業は「未来創新基金」の創設とし、300万円の基金を活用し、これから10年後20年後のライオンズクラブの活動を見据え新しい未来を切り開く人材や団体を多方面で支援し育成する事業であります。式典では1個人及び2団体に目録を贈呈いたしました。個人では平昌オリンピックで4位を果たし、4年後には確実にメダルが期待される一関市東山町出身、一関学院高校2年生の岩渕麗奈さん。団体では日本盲導犬協会と一関市を中心に世界で唯一候補地になっているILC国際リニアコライダー実現への支援活動であります。

本式典を契機に私たちは40周年大会テーマ「未来創新」を高く掲げ、クラブの充実発展と新しいアクティ

ビティへの挑戦を続けて参ります。結びに改めましてCN40周年に御臨席を賜りました御来賓各位並びに会員皆様に厚く御礼を申し上げますと共に益々の御健勝と御活躍を祈念し報告と致します。 We・Serve!!



CN50周年記念式典

大東岩手ライオンズクラブ 会長 L. 菊池 誠治

世界にライオンズクラブが誕生して約100年そしてライオンズクラブが日本に誕生して66年を迎えたとの事。当クラブもその中で50年の節目を迎え、この度地区ガバナーそしてブラザークラブの御協力を頂き、お陰様をもちまして盛会裏に閉式することが出来ました。心より感謝申し上げます。

当クラブは決して会員数が多いとは言えませんが、少ない会員の中で成し遂げられたのは、会員相互の協力と先輩ライオン各位のご指導の賜かと思えます。合せてゾーンクラブのご理解とお力添えに感謝申し上げます。

今次のCN50周年を契機に歴代会員の活動を手本にしながら、ライオンズマンの一



会長挨拶

員として地域社会へ奉仕の精神で活動して参りたいと思います。

今後とも尚一層のご指導とご厚情を賜りますようお願い申し上げます。



市長祝辞



ガバナー祝辞



実行委員長



祝宴余興



祝宴抽選

50周年記念式典を終えて

遠野ライオンズクラブ 会長 L. 照井 文雄

この度、遠野ライオンズクラブは4月7日にあえりあ遠野におきまして、チャーターナイト50周年記念式典、並びに祝賀会を盛大に開催することが出来ました。お忙しい中、本田敏秋遠野市長、L. 森谷潤地区ガバナーをはじめ、キャビネット役員、並びにスポンサークラブであります釜石ライオンズクラブ、そして地区内のライオンズクラブの皆様、来賓の皆様、そして姉妹クラブであります八戸白鷗ライオンズクラブと、多くの皆様のご参加を

頂きまして、誠にありがとうございました。お陰様で無事終える事が出来ました事に改めて感謝とお礼を申し上げます。

遠野ライオンズクラブは県内15番目のクラブとして1697年3月26日に結成されました。以来50年、「We Serve」の精神のもと地域に寄り添い、青少年野球大会の支援や、福祉施設との交流、東日本大震災後は遠野市内在住の被災者に正月用のお餅と、遠野市と友好都市の熊本県菊池市のみかんを送り届ける活動などを行ってきました。

式典では、今回の50周年記念事業といたしまして、市民の皆様の憩いの場になる事を願い、遠野市新庁舎展望ロビーへ遠野産の樺で製作した「応接テーブル」を寄贈致しました。また、毎年平和ポスターコンテストにご協力頂いております遠野市立遠野中学校へは、「校歌ボード」を寄贈致



しました。校長先生をはじめ、生徒さんからはとても見やすくなったと感謝のお言葉を頂いております。活動は小さくとも奉仕の精神を忘れず、今後も丁寧な末永く活動を継続していきたいと思えます。

そして祝賀会では、当クラブ会員の奥様の祝舞から始まり、市内で活動をされている女神楽の皆様による祝舞のアトラクションを楽しんで頂きました。ご出席頂きました皆様の交流を深める場所になりました事、そして私ども遠野ライオンズクラブも各クラブの皆様と懇親を深める事が出来た事、とても嬉しく思っております。

今後は、55周年に向けて会員拡大を目指し、未来を担う青少年の育成や地域社会の奉仕活動にクラブ一丸となり取り組んで参ります。今後とも、温かいご指導、ご協力を宜しくお願い申し上げます。



陸中山田ライオンズクラブCN35周年記念式典報告

震災…そして7年

陸中山田ライオンズCN35周年記念式典 記念誌委員長 L.千坂 清一

桜の花が咲き始めた4月15日に「陸中山田ライオンズクラブCN35周年記念式典」が、東京オリンピック・パラリンピック担当国務大臣鈴木俊一様、332-B地区ガバナーL.森谷潤を始めとする来賓の方々及び332-B地区5Rのプラザークラブ、友好クラブの北上国見LC・江釣子LC、そして332-A地区の姉妹クラブ平賀LC、友好クラブ弘前東奥LC、青森ZEROLCの皆さんの合計150余名の出席により山田町中央公民館で挙行されました。

記念式典というものは、どのクラブにとっても意義深いものだと思いますが、当クラブにとっては、震災後の復興の証として、姉妹クラブ・友好クラブ、そして同様な被害を受けた5Rのクラブとの連帯感、絆を深める最高の舞台と感じています。

震災の跡が生々しく残っている5年前の「30周年記念式典」のテーマは、震災…そして復興へ。というものでしたが、その流れを継承し、今回のテーマは、震災…そして7年。あの震災をポジティブに捉え、クラブを活性化しようという意図です。山田町の復興計画によると今までの7年間は復興期・再生期という位置付けで、これからが発展期ということなのです。

我々の活動もこの動きに似ていますが、発展の先の長期的な目標をもっています。昨年の5月にライオンズクラブ創立100周年を記念して、被災した船越公園に植樹した桜の育成と規模を拡充させることです。それは桜の名所を持って



ガバナー祝辞



姉妹・友好クラブへ記念品

感謝状
春をよぶプロジェクト目録贈呈
町内3校へ一輪車練習用バーの贈呈

記念事業 一輪車用バー贈 山田町立轟木小学校 他2校



いる北上、弘前両市の友好クラブに対する、我がクラブの恩返しにもなると思うからです。先日、北上国見LCのあるLに言われた「長生きして、満開になった山田の桜と一緒に観ましょう」という言葉を忘れることが出来ません。そして、冒頭に紹介した150余名の皆さんに、祝宴終了まで楽しんで頂いたことも忘れることが出来ません。絆がより一層強くなった気が致します。

遅ればせながら、また、僭越ですが、お忙しいところをご出席いただき、有難うございました。そして、不行き届きが有ったことをお詫び申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻をお願い致します。



会員拡大 —純増10%達成に向けて—

会員増強についての花巻東LCの現状と思案 L. 下川原 和孝（花巻東LC会長）

一昨年度、キャビネットを担当した折「いつも以上に頑張らねば」という思いから当クラブでは目一杯の会員増強を行いました。一般会員の入会が望ましい事は重々承知しておりますが、中々に難しく主に賛助会員・家族会員での会員増強を行いました。結果、現在は辛うじて会員数の維持は出来ているものの内情は苦しくなっております。賛助会員・家族会員の会費は国際会費・複合、地区会費のみ頂いており、クラブの運営、事業費は全て少ない人数の一般会員の会費から捻出し、どうにかやりくりをしながら維持しております。

若い方々に入会してもらおうと声がけをしておりますが、高い年会費がネックになり、快い答えはなかなかもらえません。会費を下げれば良いのですが、今でも苦しいのに直ぐに下げることは現実的に考えますと難しいところです。

ガバナーの掲げる10%純増、頑張って行動しておりますが、正直言って、後一ヶ月半で達成は難しくなって来ております。本当に申し訳なく思っております。

家族会員の増強、人数合わせの名前だけの会員では否定的な考えの方々が出るのは当たり前の事かと思えます。当クラブでも正直言ってその様な傾向はあります。

しかし、当クラブでは家族会員の3/4は女性会員。レディーズ委員会と銘打って、委員会を立ち上げ、大いなる活動をしております。全て女性達に任せております。

自主的に手作り品の作成・販売を行い、益金



2017.12.23 クリスマス献血、ヨーカドー

を全額ガバナーの重点目標でもある「青少年健全育成のアクティビティ」に当てております。

女性達の行動力には頭の下がる想いが致します。

後は、先々には一般会員となってほしい若い家族会員がどうしたら表舞台に出て来てもらえるかを考えますと、やはり親会員である一般会員が家庭でライオンズクラブの事を度々話題にし、家庭内でもライオンズクラブの事を今まで以上に興味を持ってもらえるよう仕向けて行く努力をし続け、その一方では若い会員が労を惜しまず先導者となり、親睦を深める集まりを企画し、誘い、仲間意識を高めていけば、その会話の中から新たなアクティビティが生れてくるかもしれません。

若者は繋がりで新たな若者を呼び、会員が増えれば年会費も下げられ、又々、更には、新たな会員入会も望めるかも!? 大いに期待し、当クラブの寄稿とします。



2017.12.14 Xmas家族会、作品販売



2017.9.12 LLの会(革細工)



会員拡大 —純増10%達成に向けて—

会員拡大について

L. 菊池 豊（江刺岩手LC会長）

私ども江刺岩手ライオンズクラブは現在、家族会員21名を含む49名で活動しております。最盛期に比べ会員の減少が著しい状況ではありますが、本年度はクラブの良さを地域社会の皆様を理解してもらうことが新規会員の獲得につながる第一歩と考え、各アクティビティーを通じ、また各会員がそれぞれの人脈に地道に声掛けをして参りました。

具体的には、歴代会長を中心とした会員委員会を立ち上げクラブ内で情報交換をしながら見込み会員へPRして参りました。

そして、アクティビティーの際には必ずライオンズジャンパーを着用し、地元新聞社に取材をして頂き、桜の植樹や献血活動、募金活動、チャリティー歌謡舞踊ショーなど地域住民の皆様と一緒に活動し、クラブの良さを知ってもらう機会を増やしました。

また、当クラブの55周年記念事業として各地区センターに名入ベンチを寄贈したことにより、形に見えるライオンズクラブの存在を感じて頂いたと思います。

このように、一人一人の力は小さくとも奉仕の輪を拡げ、地域の方々に必要とされる社会福祉、環境保全など、熱意を持ってクラブ会員と共に考え、

喜びと思いやりを分かち合い、価値のある活動をしてきたと自負しております。

現時点では今期2名の退会者を引き留めることができず、会員純増へ結びついていないことは大変残念に思っております。しかし、種は蒔けたのではないのでしょうか。今後は江刺岩手の良さを大事にしながらも、他クラブの良いところをも参考とし、取り入れていきたいと思っております。

最後に繰り返すにはなりますが、会員それぞれが地域で尊敬され、公共性・社会性の高い奉仕活動を行い、周囲の人たちに地域に無くてはならない団体だと認識され、「いつかは自分も会員として迎え入れられたい」と思ってもらえるようなクラブを目指し、会員一丸となって会員増強に取り組みたいと思っております。



奥州市江刺梁川サクラの植樹



55周年記念チャリティー歌謡・舞踊ショー



55周年記念事業地区センターにベンチ贈呈

4月のアクティビティ

1 R 1 Z		
盛岡LC	16日	リトルリーグ支援
	21日	国際地球デー 植樹
盛岡不来方LC	20日	国際地球デー 第17回植樹会
盛岡中津川LC	22日	国際地球デー 桜植樹
盛岡親武LC	1日、15日	こども食堂
	9日	直接献血
	17日	ヘッドネーション
	24日	国際地球デー 公園清掃
盛岡南LC	—	
滝沢LC	12日	国際地球デー 植樹
玉山姫神LC	24日	国際地球デー ライオンズ公園整備事業
1 R 2 Z		
二戸LC	16日	使用済み切手 4850枚送付
	21日	国際地球デー 清掃奉仕
西根LC	16日	献血推進活動
安代LC	29日	桜松公園清掃活動
	29日	オオヤマザクラ植樹
2 R 1 Z		
花巻LC	13日	花巻市青少年育成市民会議
	22日	国際地球デー 清掃奉仕
紫波LC	3日	ペットボトルキャップ回収
	22日	国際地球デー 桜の植樹
石鳥谷LC	20日	国際地球デー 清掃奉仕
花巻東LC	6日	レディースの会 手作り品製作
東和猿ヶ石LC		花巻市民憲章推進協議会
矢巾LC	4日	矢巾駅周辺清掃とゴミ拾い、草刈
	23日	植樹した銀杏の木手入れ周辺環境整備
	29日	森山パーク桜とアジサイの森づくり
2 R 2 Z		
北上LC	3月1日~31日	資源回収リサイクル活動
	8日	展勝地公園「紫陽花周りの清掃作業」
	12日	献血推進活動
	12日~16日	台湾屏東市獅子會と合同で オートバイ、消防救助装備品寄贈
	23日	さくら愛護育成支援金贈呈
和賀LC	3月28日	資源回収
	8日	展勝地公園「紫陽花周りの清掃作業」
	22日	国際地球デー 桜植樹
北上国見LC	8日	展勝地公園「紫陽花周りの清掃作業」
	12日、13日、27日	献血推進活動
	15日	山田町瀧瓶桜補植事業

北上国見LC	23日	さくら愛護育成支援金贈呈
	24日	北上市手をつなぐ育成会へ支援金贈呈
	24日	国際地球デー 一斉植樹
江釣子LC	3月5日・4月18日	資源回収
	8日	展勝地公園「紫陽花周りの清掃作業」
	8日	献血推進活動
	15日	山田町瀧瓶桜補植事業
	23日、24日	国際地球デー 樹木剪定
3 R 1 Z		
水沢LC	3月29日	国際地球デー 桜植樹
	5日	小学校 教育環境向上支援
	11日	献血推進活動
江刺岩手LC	7日	岩谷堂高校入学式
	15日	えさし花プロジェクト協議会
	19日	国際地球デー 桜植樹
前沢LC	19日	環境保全 植樹
水沢中央LC	17日	国際地球デー 桜植樹
金ヶ崎LC	7日	金ヶ崎第1小学校入学式
	15日	献血推進活動
	22日	国際地球デー 樹木植樹とクリーン作戦
	26日	アイバンク講習会
胆沢岩手LC	10日	交通安全街頭指導
3 R 2 Z		
一関LC	12日	国際地球デー 植樹桜のメンテナンス
	22日	献血推進活動
平泉LC	28日	国際地球デー 弁慶の森草刈り
花泉LC	24日	桜植樹
一関中央LC	16日	使用済み切手 1000枚送付
	22日	盲導犬育成費支援
	22日	岩淵麗奈さん選手活動支援
	22日	国際リニアコライダー誘致支援
一関蔵美溪LC	22日	「藤の園」へ学校用テント寄贈
	18日	植樹桜の追肥、メンテナンス
4 R 1 Z		
千厩LC	11日	春の交通安全街頭指導
	12日	特別支援学校放課後等デイサービスに 「こいのぼり」一基贈呈
大東岩手LC	8日	社会福祉協議会に 最新式車椅子7台寄贈
東山LC	6日	黄色い帽子とランドセルカバー寄贈
	17日	やすらぎ荘に桜の植樹
	15日	砂鉄川清流カップ学童野球岩手県南大会

藤沢岩手LC	12日	特別支援学校放課後等デイサービスに「こいのぼり」一基贈呈
	12日	野球スポーツ少年団へ活動支援金
	29日	剣道大会協賛
川崎岩手LC	24日	ライオンズ杯GG杯開催
	26日	川崎小学校に図書寄贈
室根LC	12日	特別支援学校放課後等デイサービスに「こいのぼり」一基贈呈
	15日	室根山山開き 桜植樹
4 R 2 Z		
大船渡LC	25日	声の図書館点検と整備
	27日	綾里中学校「宮本いづみピアノコンサート」協力
	28日	赤崎中学校「宮本いづみピアノコンサート」協力
陸前高田LC	20日	苫小牧ハスカップLCと共同植樹
住田LC	10日	春の交通安全街頭指導
大船渡五葉LC	—	
5 R 1 Z		
宮古岩手LC	26日	宮古市献血推進協議会
久慈LC	26日	ツツジの植樹
	26日	清掃奉仕活動
陸中宮古LC	6日	春の交通安全運動街頭啓発活動
	7日	百獣の王ライオンコンペ(事業資金獲得)
	10日	レディーの会奉仕活動
	16日	十二神千古の森協議会
	21日	国際地球デー 清掃活動
岩泉龍泉洞LC	26日、27日	献血推進活動
	27日	済生会花泉病院前花壇整備

5 R 2 Z		
釜石LC	13日	ラグビーワールドカップ支援金贈呈
	18日	第422回LL奉仕活動
	25日	国際地球デー 梅苗植樹
遠野LC	2日、27日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト表彰式
	18日	リサイクル品の回収
釜石リアスLC	4日	アイバンクひかりの箱協力感謝のタペ
	24日	使用済み切手 1000枚送付
大槌LC	—	
陸中山田LC	15日	一輪車練習用バー寄贈
	15日	100周年記念植樹「瀧瓶桜」補植費寄贈
	22日	ふれあいの森林整備事業
ライオネスクラブ		
西根LS	17日	むらさき苑ヘタオル贈呈
レオクラブ		
盛岡LEO	—	
石鳥谷LEO	—	
北上LEO	—	
一関二高LEO	22日	親クラブ一関中央LC40周年記念式典
釜石LEO	—	



会 員 動 向

4月 新入会員一覧

クラブ名	会員名 (新入／再入／転入)
盛岡LC	佐 藤 節 子
	晴 山 美知子
	藤 村 和 成
	渡 邊 マサヨ
北上LC	由 里 功 次
水沢中央LC	小野寺 昌 之
金ヶ崎LC	小 野 順 成
岩泉龍泉洞LC	佐々木 琢 磨

2018年4月 LCIF \$ 1000 献金 なし

訃 報

陸前高田LC
故 L. 阿部 勝也

享年78歳(1989年11月入会)
4月9日 ご逝去



アクティビティ フォトグラフ



二戸LC



国際地球デー(清掃奉仕)

石鳥谷LC



国際地球デー(清掃活動)

花泉LC



植樹

大東岩手LC



車椅子贈呈写真

盛岡中津川LC



国際地球デー(エドヒガン桜植樹)

玉山姫神LC



国際地球デー(LC公園清掃)

盛岡観武LC



国際地球デー(小鹿公園清掃)

花巻LC



国際地球デー(花巻市日居城野公園駐車場および自転車道の清掃)

釜石LC



ラグビーワールドカップ2019 支援金贈呈式

北上LC



2018 あじさい

水沢中央LC



国際地球デー(ひまわり園ヘシダレザクラの植樹)

陸中宮古LC



国際地球デー(清掃活動)

編集後記

ライオンズ国際協会332-B地区第64回年次大会が住田町で開催され、会員皆様のご協力のもとに無事終わる事ができ感謝申し上げます。私も記念誌編集委員長として微力ながら務めを果たすことができました。田植えを終えて一息ついたところです。

ライオンいわての編集委員会も残すところあと1回となりました。毎回編集委員の方々と校正の読み合わせを致しますが、県内各クラブのさまざまな活動状況に接し、We Serveの精神を感じているところです。(編集委員 L.阿部祐一)

《表紙の写真》 種山高原

種山高原は奥州市、住田町、遠野市にまたがる標高600m～870mの高原で、物見山・大森山・立石などを総称して「種山高原」と呼ばれている。

緩やかな稜線と冷涼な気候から藩政時代から馬の放牧地として利用されてきた。

岩手を代表する詩人・宮澤賢治がこよなく愛した高原としても知られている。

ライオンズクラブ国際協会332-B地区 キャビネット事務局

ライオンいわて編集委員会

発行：2018年5月25日

発行人：L.森谷 潤

編集委員長：L.熊谷千洋

副委員長：L.瀧本正徳 L.金野廣勝

編集委員：L.阿部祐一 L.千葉弘志

L.高橋哲郎 L.大坂佐智夫

印刷：タクミ印刷株式会社

〒029-2205 陸前高田市高田町字法量68-1

Tel 0192-55-2178 fax 0192-55-5187

E-mail : takumi2@aurora.ocn.ne.jp

キャビネット事務局：〒020-0022

盛岡市大通三丁目6-12 開運橋センタービル4-7号

Tel 019-621-1415 fax 019-621-1420

E-mail : morioka-cab332b@almond.ocn.ne.jp